

お楽しみはまだ続く

有栖川有栖

いよいよ『世界探偵小説全集』第4期が刊行される。第1期がスタートした当初、「予告された本がすべて出ますように」と祈っていたのがまるで嘘のようだ。お楽しみは、まだまだ続くのだ。

中国の故事によると、鄭の公子宋はご馳走にありつける気配を察すると食指（人差し指）が動いたそうだが、今回のラインナップを見た瞬間、私のそれもびくびくと動いた。パークリーやマーシュといった大御所からアフォードら本邦初紹介作家の作品まで、どれもこれも面白そうだ。早く本の形になって、われの許にきたれ、と思う。

美しい装丁にも期待したい。映画やドラマにミステリファンの部屋が登場した時、彼もしくは彼女の本棚にいつい目が引き寄せられる、という経験はないだろうか。そこにハヤカワ・ミステリが並んでいるのを確認すると、にやりとしたものだが、これからは『世界探偵小説全集』も揃えてほしい。それだけで「こいつ、好きだな」と判る。

このような全集が読めるのは、本格ミステリが活況を呈しているからだ。ブームは必然的に、作品とファンに〈拡散〉をも齎らしている。かつて「本格が好きだ」と言えば通じた会話が、昨今は本格好きを自称する者の間ですら時として成立しない。そんな時だからこそ、本格ならではの面白さを凝縮したこの全集の意義は、ますます大きいと言えるだろう。

世界探偵小説全集

◆ 第IV期 全10巻 ◆



The Collection of
Classic Detective Stories



国書刊行会

本格の王道を行く黄金時代探偵小説から、
未知の領域を切り拓く問題作まで、
探偵小説ファンの見果てぬ夢を追い続ける
クラシックミステリ・コレクション、
第IV期刊行開始！！

四六判変型・上製ジャケット装
平均 320 頁 平均予価 2400 円
装丁＝坂川栄治＋藤田知子（坂川事務所）

2002 年 9 月刊行開始

+

【第1回配本】
アントニー・パークリー
レイトン・コートの謎 予価 2500 円



国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
☎ 03-5970-7421 FAX 03-5970-7427
<http://www.kokusho.co.jp>

小社の刊行物は注文制です。お近くの書店にお申し込みください。

36 レイトン・コートの謎

The Layton Court Mystery

アントニー・パークリー 巴妙子訳

頭を撃ち抜かれた実業家の死体が密室内で発見された。警察の見解は自殺に傾いていたが、現場の状況や客たちの怪しげな行動に、素人探偵の名乗りを上げたロジャー・シェリングムは、独自の捜査を開始する。巨匠パークリーの輝かしい出発点。第1回配本



37 塩沢地の霧

The Mist on the Saltings

ヘンリー・ウエイド 駒月雅子訳

海辺の村で暮らす画家夫婦は、執筆にやって来た有名な小説家と知り合いになる。そしてある深い霧の夜、姿を消した小説家は数日後死体となって発見された。悲劇的な結末が深い感動を呼ぶ、「30年代に書かれた最高のミステリ」とも評された作品。



38 ストップ・プレス

Stop Press

マイクル・イネス 富塚由美訳

人気作家エリオットが創造した義賊ヒーロー〈スパイダー〉が、あたかも本の中から抜け出したかのような怪事件が続発。ついには現在構想中のプロットとそっくりの事件が発生する。全篇が壮大なブラクティカル・ジョークともいべきイネス畢生の大作。

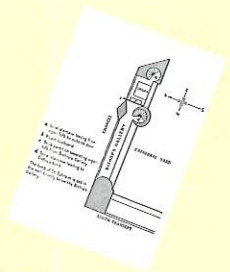


39 大聖堂は大騒ぎ

Holy Disorders

エドモンド・クリスピン 滝口達也訳

不審な事件がつづく大聖堂で、巨大な石碑の下敷きになった死体が発見される。その大聖堂では中世に魔女狩りが行なわれた暗い歴史があった。D・カーバリーの不可能犯罪と怪奇趣味に、抱腹絶倒のドタバタ追跡劇。フェン教授登場のヴィンテージ・ミステリ。

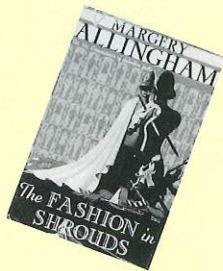


40 屍衣の流行

Fashion in Shrouds

マージェリー・アリンガム 小林晋訳

華やかな生活を送る女優ジョージアをとりまく男たちの死。三年前、謎の失踪をとげた前夫が死体で発見され、その数日後、現在の夫が飛行機内で怪死を遂げる。彼女は冷酷な殺人者なのか、それとも……。クリスティーがその才能を羨んだという巨匠の傑作。

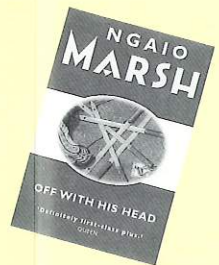


41 道化の死

Off with His Head

ナイオ・マーシュ 大岐達哉訳

年に一度のページェント（五人の息子たちによる剣のモリスダンス）の最中、〈道化〉役の青年が本当に首を切り落とされてしまう。衆人環視のなかで行なわれた残忍無比な不可能犯罪に、アレン警視は如何なる解決を見出すか。マーシュの戦後代表作。



42 テンブラー家の殺人

The Thing at Their Heels

ハリントン・ヘクスト 高田朔訳

デヴォンシャーの名家を脅かす不気味な黒い影。一家皆殺しを凶るかのように、次々に殺戮を繰り返す正体不明の殺人鬼の跳梁に、警察もまったく為す術がなかった。強烈なサスペンスと驚愕の真相。ヘクスト＝フィルポットの異色ミステリ。

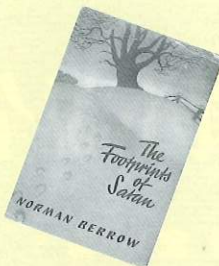


43 魔王の足跡

The Footprints of Satan

ノーマン・ベロウ 武藤崇恵訳

ある朝、雪原の真ん中にたつ大木の枝に死体がぶらさがっていた。周囲に残された足跡からは、まるで何かが彼を殺したあと虚空へ飛び立ったとしか思えなかった。オカルト趣味満点の不可能犯罪物で熱狂的なファンをもつ幻の本格派ベロウ、待望の初紹介。



44 割れたひづめ

Mr Splitfoot

ヘレン・マクロイ 好野理恵訳

吹雪のなか車が立ち往生し、近くの屋敷に助けを求めたウィリング夫妻だが、その館にはそこで寝る者は必ず翌朝には死んでいるという開かずの部屋があった。伝説では〈割れ跡さん（悪魔）〉の仕業とされていたが、はたして問題の部屋で事件が発生する。



45 魔法人形

The Death's Mannikins

マックス・アフォード 霜島義明訳

呪いの人形が送りつけられた悪魔信仰研究家の屋敷で怪事件が続発、やがて密室殺人へと発展する。濃厚な怪奇趣味、独創的なトリック、意外な犯人と、探偵小説に必要な全てをかねそなえた傑作。オーストラリアの知られざる本格派アフォードの本邦初紹介。



*タイトルは仮題です。

既刊 35 巻 ● 好評発売中

【第 I 期】

1. 薔薇荘にて A・E・W・メイスン 2400 円
2. 第二の銃声 A・パークリー 2330 円
3. X に対する逮捕状 P・マクドナルド 2600 円
4. 一角獣殺人事件 C・ディクソン 2250 円
5. 愛は血を流して横たわる E・クリスピン 2330 円

6. 英国風の殺人 C・ヘアー 2200 円
7. 見えない凶器 J・ロード 2400 円
8. ロープとリングの事件 L・ブルース 2300 円
9. 天井の足跡 C・ロースン 2450 円
10. 眠りをむさぼりすぎた男 C・ライス 2300 円

【第 II 期】

11. 死が二人をわかすまで J・D・カー 2136 円
12. 地下室の殺人 A・パークリー 2300 円
13. 推定相続人 H・ウエイド 2400 円
14. 編集室の床に落ちた顔 C・マケイブ 2500 円
15. カリブ諸島の手がかり T・S・ストリプリング 2400 円
16. ハムレット復讐せよ M・イネス 2500 円
17. ランプリイ家の殺人 N・マーシュ 2427 円
18. ジョン・ブラウンの死体 E・C・R・ロラック 2300 円
19. 甘美な毒 R・ベニー 2300 円
20. 薪小屋の秘密 A・ギルバート 2400 円
21. 空のオペリスト C・D・キング 2400 円
22. チベットから来た男 C・B・クレイソン 2400 円
23. おしゃべり雀の殺人 D・L・ティーレット 2400 円
24. 赤い右手 J・T・ロジャーズ 2200 円
25. 悪魔を呼び起こせ D・スミス 2300 円

【第 III 期】

26. 九人と死で十人だ C・ディクソン 2400 円
27. サイロの死体 R・A・ノックス 2400 円
28. ソルトマーシュの殺人 G・ミッチェル 2500 円
29. 白鳥の歌 E・クリスピン 2400 円
30. 救いの死 M・ケネディ 2400 円
31. ジャンピング・ジェニイ A・パークリー 2500 円
32. 自殺じゃない! C・ヘアー 2400 円
33. 真実の問題 C・W・グラフトン 2500 円
34. 警察官よ汝を守れ H・ウエイド 2400 円
35. 国会議事堂の死体 S・ハイランド 2500 円

(税別価)